

ヴォリュームアキュライザーの活用(5)  
ー複数箇所への同時適用(2)

1. 始めに

今回は、前報(4)に引き続き、複数箇所への同時適用を行ってみます。対象はサブシステムの **Rogers Cadet III** プリメインアンプで駆動する **DLS 529** のシステムです。

2. ヴォリュームアキュライザー **VRA-7** の試聴方法

前報(4)では下記の 2 組について検討しました。即ち、信号系がシリーズである場合、複数の適用でどのようになるかを試聴してみたわけです。

**Rogers Cadet III+Ex Pro SV-1**

**Rogers Cadet III+TruPhase**

今回は、**VRA-7** を追加購入しましたので、さらに下記について検討します。

**Rogers Cadet III+Ex Pro SV-1+TruPhase**

なお、**Rogers Cadet III** 単独への適用はヴォリュームアキュライザーの導入(9)で、**TruPhase** 単独への適用はヴォリュームアキュライザーの導入(2)で、**Ex Pro SV-1** 単独への適用はヴォリュームアキュライザーの導入(4)で、それぞれ報告済です。音源は、下記のアナログ盤の再生です。

**LONDON SLC 1138**

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマン

**ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020**

**J.S.Bach** チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

**harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H**

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード **SKA-104**

愛と自然の歌

倍賞千恵子

3. ヴォリュームアキュライザー **VRA-7** の試聴結果

音量調整は、**Ex Pro SV-1** のヴォリュームを全開にし、**TruPhase** と **Rogers Cadet**

Ⅲのヴォリュームで調節します。

ZANDEN Model 120 の設定は、これまでの経験を基に選択しています。

今回は、前段の Ex Pro SV-1 と TruPhase に VRA-7 を貼った後、Rogers CadetⅢに加えてみます。前段の Ex Pro SV-1 と TruPhase に VRA-7 を貼った印象は、ヴォリュームアキュライザーの活用(4)で報告した Rogers CadetⅢと Ex Pro SV-1 の組み合わせ、および Rogers CadetⅢと TruPhase の組み合わせに似ておりますが、少し物足りないところもあります。この状態で、さらに Rogers CadetⅢにも適用してみますと、音圧が上がったように感じ、中型のブックシェルフが大型化したように感じます。

三角帽子は、俄然スケール感が出て、ティンパニの迫力が違ってきます。

チェンバロ協奏曲は、スケール感が出ますし、アンサンブルのニュアンスが向上します。

ミトマニアは、男女のボーカルの抜けが向上し、バックの古楽器の質感が違ってきます。

倍賞千恵子は、ステージに近づいたように感じます。

#### 4. まとめ

Rogers CadetⅢに加えて Ex Pro SV-1 と VRA-7 をプラスしますと、前報(4)の二重連の状態からさらに効果が増大しました。

以上